

小学校 第 1 学年

出題のねらいと正答例・正答率一覧表

問題番号	小問番号	出題のねらい	正答例	観点	正答率(%)
【1】	①	(1位数)と(1位数)の計算をすることができる。	㉔に○	知技	85
【2】	②	数の合成・分解の問題を解決することができる。	6	知技	86
【3】	③	順序数と集合数の表し方や違いを理解している。	㉕に○	知技	67
【4】	④	数の合成・分解を用いて、条件に合った数を考えている。	4	思	71
【5】	⑤	0の意味や使い方を理解している。	㉖に○	知技	
【6】	⑥	形や特徴を基に、条件に合った立体図形を考えている。		思	83
	⑦	立体図形の面の形に着目し、使った立体を考えている。	左から一番目と左から三番目に○ (完答)	思	79
【7】 ☆	⑧	日常生活におけるものを数える場面において、学んだことを活用して考えている。	㉚に○	思活	52
	⑨		$9 - 7 = 2$ 2こ	思活	63
	⑩		(例) ちがいをもとめるには、ひき算(7-2)をしないといけないから。 ※求差はひき算であることに触れた記述があれば○	思活	11
思活	「思考・判断・表現」を調べる(学んだことを日常生活や社会の事象に活用する)問題(☆マーク)				平均
思	「思考・判断・表現」を調べる問題				66
知技	「知識・技能」を調べる問題				

算数・数学実態調査

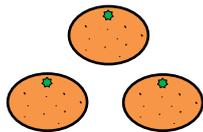
名古屋市数学会
名古屋市教育会 後援

小学校	ばん
-----	----

【1】 きたえが 6になる しきを 1つ えらんで に ○を
つけましょう。

- $3 + 4$ $2 + 3$
 $8 - 4$ $9 - 3$

【2】 したのみかんの かずは あと いくつで 9になりますか。
 に かずを かきましょう。



あと で 9になります。

【3】 くるまが ならんで います。 まえから 5だいの くるまに
いろを ぬりました。 ただしく ぬって いるのは どれでしょう。
1つ えらんで に ○を つけましょう。

- (まえ) (うしろ)
 (まえ) (うしろ)
 (まえ) (うしろ)
 (まえ) (うしろ)

【4】 4まいの かあどが あります。 どれも 2つの かずを
あわせると おなじに なります。 に あてはまる かずを
かきましょう。

2 と 6

1 と 7

5 と 3

と 4

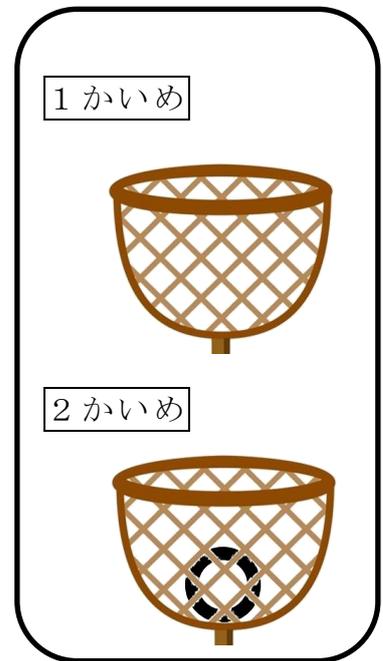
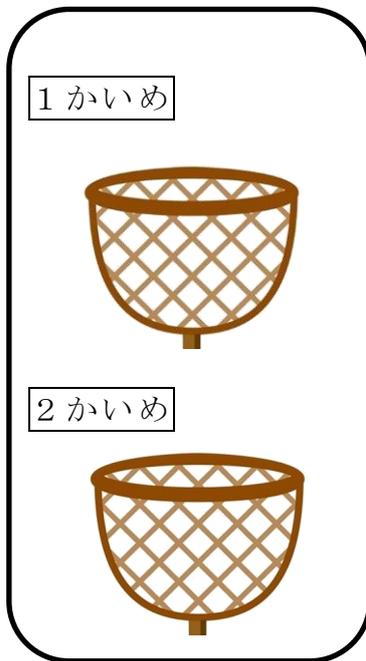
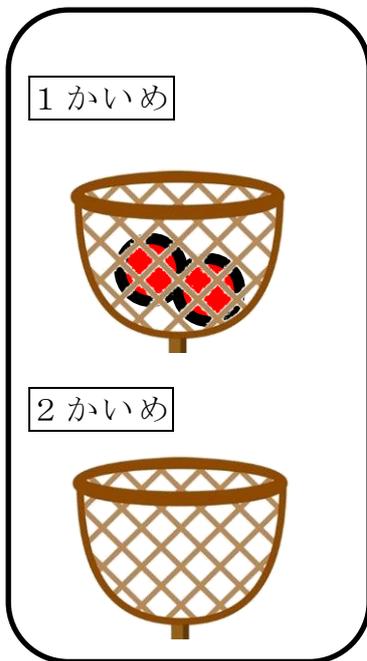
④

【5】 あか あお しろの 3ちいむで たまいれを 2かい しました。
かごに はいった たまの かずについて ただしい ぶんを
1つ えらんで に ○を つけましょう。

あかちいむ

あおちいむ

しろちいむ



① あかちいむは 1 かいめと 2 かいめを あわせて 3 こでした。

② あおちいむは 1 かいめと 2 かいめを あわせて 0 こでした。

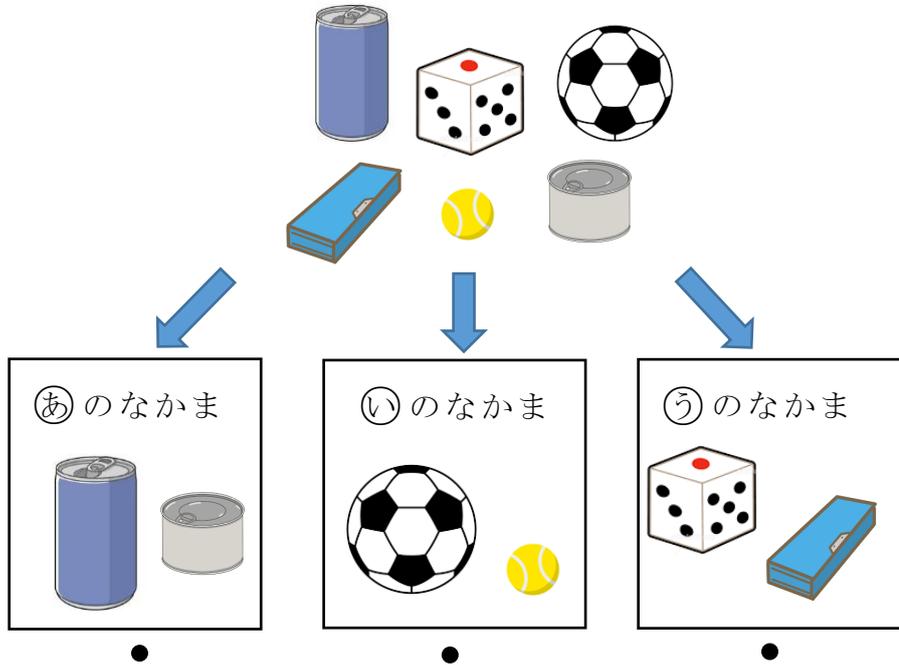
③ しろちいむは 1 かいめと 2 かいめを あわせて 0 こでした。

⑤

【6】 つぎの もんだいに こたえましょう。

(1) いろいろな かたちのものを 3つのなかまに わけました。

㉠㉡㉢は どのような なかまに わけたでしょう。 えと ぶんを
 せんで むすんで こたえましょう。



つむ ことが できて ころがる なかま	つむ ことが できなくて ころがる なかま	つむ ことが できて ころがらない なかま
------------------------	--------------------------	--------------------------

⑥

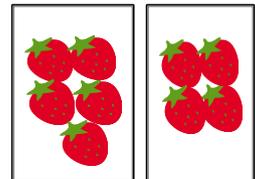
(2) かたちを うつして したの えを かきました。つかった かたちは
 どれでしょう。2つ えらんで に ○を つけましょう。

かいた え

⑦

【7】 ☆ おかあさんが さとしさんに いちごを かってきました。

つぎの もんだいに こたえましょう。

 <p>おかあさん</p> <p>いちごを かって きたわよ。</p>	 <p>さとしさん</p> <p>2パックも あるんだね ぼくは 7こ たべたいな。</p>	 <p>【かってきた いちごの パック】</p>
--	---	---

(1) いちごは あわせて 9こです。

かってきた いちごの かずを あらわす しきを 1つえらび
□ に ○を つけましょう。

- ① □ $5 - 4$ ② □ $2 + 7$ ③ □ $5 + 4$ ④

(2) 「かってきた いちごは 9こです。」 さとしさんは いちごを
7こたべました。

のこりの いちごの かずは なんこですか。

しきと こたえを かきましょう。

(しき)

(こたえ)

こ

⑤

(3) かなさんは おかあさんと さとしさんが たべた いちごの
かずについて かんがえました。

 <p>さとしさん</p> <p>わたしは いちごを 2こ たべたわよ。</p>	 <p>おかあさん</p> <p>ぼくは いちごを 7こ たべたよ。</p>
---	---



おかあさんと さとしさんが たべた いちごの かず
ちがいは 「2+7」で もとめることが できますね。

かなさんが いって いることは ただしく ありません。

そのわけを かきましょう。

わけ

⑥

【思考・判断・表現】

問題【4】の④について

解答の傾向

④ 4 (71%) 2 (5%) 3 (4%) 無答(10%)

分析・考察・対策 ④は、数の合成・分解を用いて、条件に合った数を考えているかを調べる問題である。

誤答を見ると、2や3などの数をあてはめて、8以外の数をつくっているものが多かった。これは、以下に述べる二つの原因があるためであると考えられる。

一つ目は、「2と6、1と7、5と3で8になる」という数の合成については理解

できていても、「4と4で8になる」という数の分解について考えることができなかったことである。

二つ目は、「2と6、1と7、5と3で8になる」という数の合成を用いて考えることができなかったことである。

そこで、数字カードを同じ和になる仲間に分類したり、規則性を見付けたりする活動に取り組ませることで、数の合成・分解それぞれを用いて条件に合った数を考えることができるようにする。

(指導事例参照)

【4】 4まいの かあどが あります。 どれも 2つの かずを あわせると おなじに なります。□ に あてはまる かずを かきましょう。

2 と 6	1 と 7
5 と 3	□ と 4

④

【知識・技能】

問題【3】の③について

解答の傾向

③ ②に○ (67%) ⑥に○ (21%) ①に○ (3%) 無答 (4%)

分析・考察・対策 ③は、順序数と集合数の表し方や違いを理解しているかを調べる問題である。

誤答を見ると、順序数を表した⑥と答えた児童が 21%いた。これは、集合数と順序数の違いが理解できていないことが原因であると考えられる。そのため、対象と数詞を順番に1対1に対応させることはできても、5台目の「5」と、5台の「5」が表す意味の違いを区別することができなかったためであると考えられる。

【3】 くまが ならんで います。 まえから 5だいの くまに いるを ぬりました。 ただしく ぬって いるのは どれでしょう。 1つ えらんで □ に ○を つけましょう。

⑥	(まえ)		(うしろ)
①	(まえ)		(うしろ)
⑤	(まえ)		(うしろ)
②	(まえ)		(うしろ)

③

そこで、「前から3番目の人は、立ちま

しょう」「後ろから4人は、手を挙げましょ」などと声を掛け、実際に体験する活動を日頃から取り入れることで、集合数と順序数の違いを理解できるようにする。また、時間割表や座席表などの児童にとって身近な物を題材として、「月曜日の上から○この授業は何でしょう」「○○さんは右から何番目でしょう」などの問題づくりを行うことで、学んだことと日常生活の場面を結び付けながら理解させていくことも大切である。

2 指導事例

【単元名 いくつといくつ】

○ 数の合成・分解を用いて考えることができるようにする指導法

【4】の④から、数の合成・分解それぞれを用いて考えることができなかつたことが分かる。そこで、数字カードを和が等しくなる仲間に分類した後、並べられた数字カードから規則性を見付ける活動を行う。「どの仲間も、片方の数が1増えともう片方の数が1減る」ということに気付かせることで、数の合成・分解それぞれを用いて条件に合った数を考えることができるようにする。

	5	6	7
1と4	1と5	1と6	
2と3	2と4	2と5	
3と2	3と3	3と4	
4と1	5と1	5と2	

きまりを見付けられましたか。

5になるカードを見ると、左の数は上から1ずつ増えて、右の数は下から1ずつ増えています。

6や7になるカードは順番になっていないけれど、どうしてだろう。

6になるカードは「4と2」が足りていないと思います。だから7にも足りないカードがあると思います。

【単元名 ひきざん(1)】

○ 日常生活の一場面と算数の学習が相互に結び付いていることを実感させる指導法

【7】の⑩から、問題場面を正確に捉えられず、言葉・数値・式が何を表しているのかを考えるとできていないことが分かる。そこで、以下のような教師の発問を取り入れた指導をする。

<日常生活から算数の学習へ>

わたしは いちごを 2こ たべたわよ。
ぼくは いちごを 7こ たべたよ。

さとしさん おかあさん

さとしさんが食べたいちごと、お母さんが食べたいちごは、何が違いますか。

大きさ。お金(値段)。数。…

数が違うっていう人がいたけれど、いくつ違うか分かりますか。

(分かる人、分からない人がいる状態)

では、今日は「いくつ違うか」を考えていきましょう。

<算数の学習から日常生活へ>

違いは、 $2 + 7 = 9$ で求められます。

2 + 7の2や7は、お話の何を表していますか。

お母さん食べたいちごの数です。

さとしさんが食べたいちごの数です。

そうすると、さとしさんが食べたいちごの数と、お母さんが食べたいちごの数を合わせると、二人が食べたいちごの数の違いが分かるのですね。

それではおかしい…。ブロックで考えてみると…。

その後、「もし〇〇だったら」のように、数を変えたり、身近な人に置き換えたりして、日常生活に近い問題場面で考えさせるとよい。